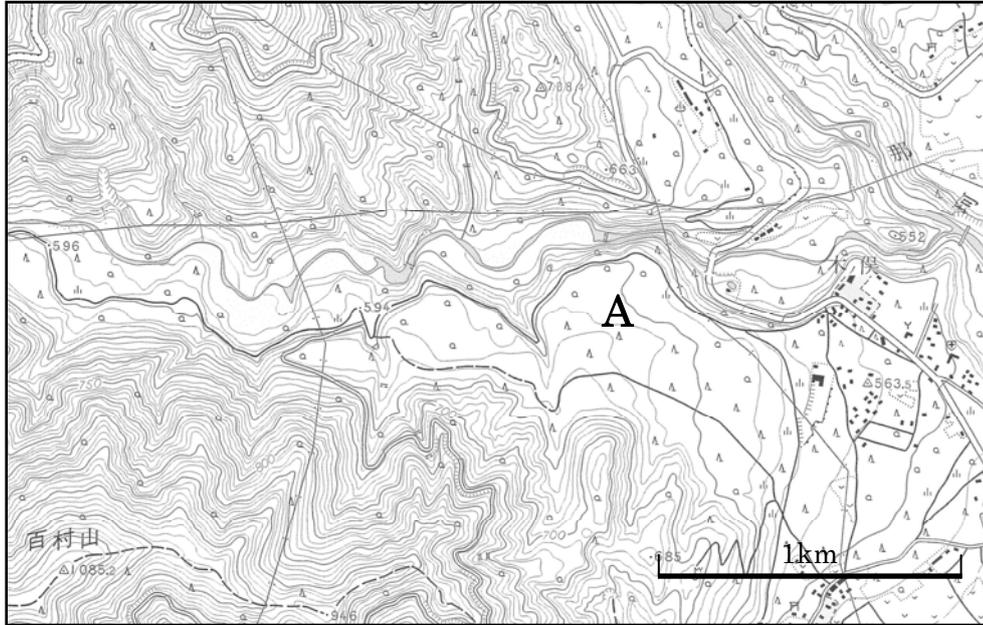


◆ 専門知識

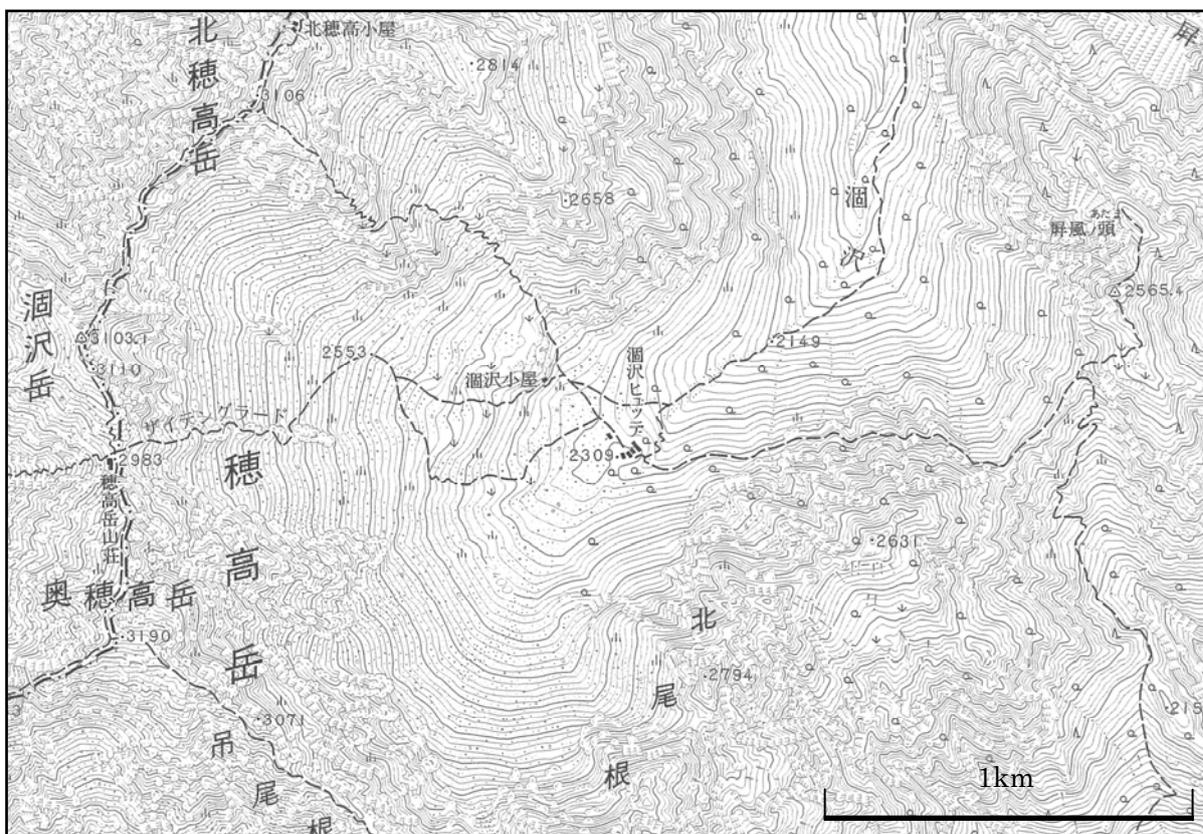
問 1. 次は、**A** 地点付近の基盤の深さを推定したものである。**最も適切なもの**を選び、記号((1)~(4))で示せ。



国土地理院発行 25,000 分の 1 地形図「板室」

- (1) 侵食段丘であるから、基盤は浅い。
- (2) 侵食段丘であるが、基盤は深い。
- (3) 堆積段丘であるから、基盤は深い。
- (4) 堆積段丘であるが、基盤は浅い。

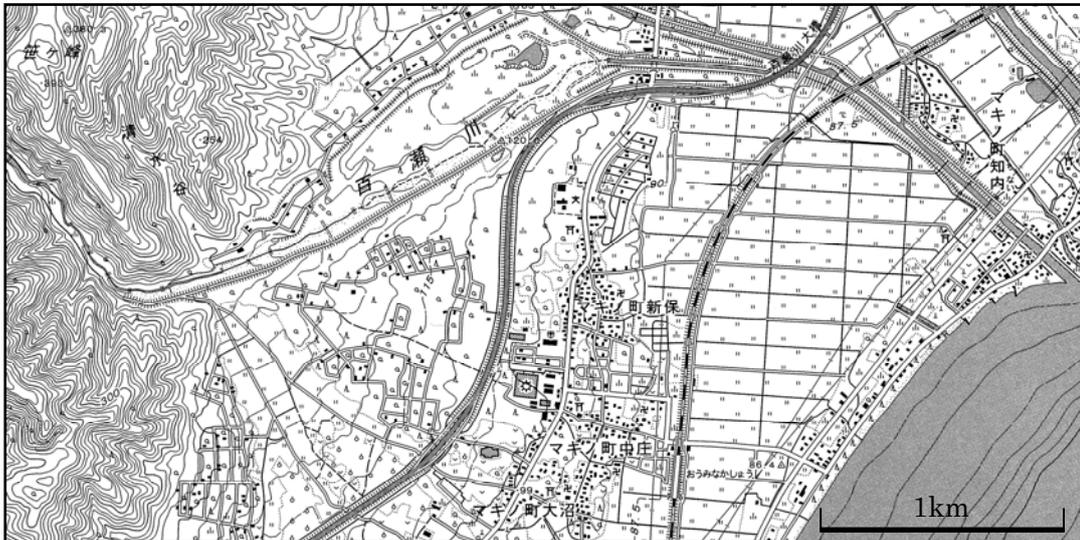
問2. 次は、下図中央の建物（涸沢ヒュッテ）付近の地形について述べたものである。**適切なもの**の一つを選び、記号（1）～（4）で示せ。



国土地理院発行 25,000 分の 1 地形図「穂高岳」

- (1) 凹地の中に建物が建てられている。この凹地は、周氷河作用によって作られたものである。
- (2) 凹地の中に建物が建てられている。この凹地は、人工的に作られたものである。
- (3) 丘の上に建物が建てられている。この丘は、氷河の働きによって運ばれた土砂によって作られている。
- (4) 丘の上に建物が建てられている。この丘は、周囲の斜面で発生した土石流が堆積したものである。

問 4. 次は、下図の中央部で南北に認められる集落の発達理由について述べたものである。
最も不適切なものを選び、記号 (1)～(4) で示せ。



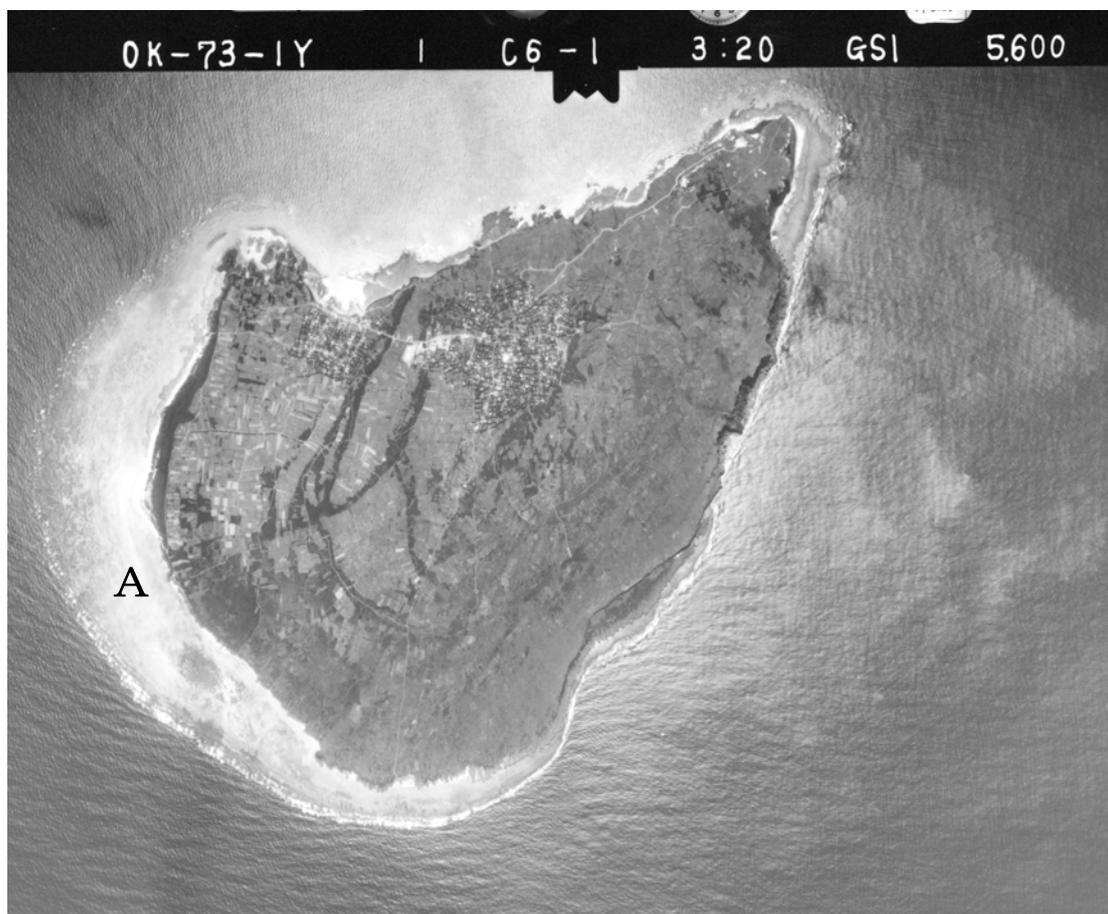
国土地理院発行 25,000 分の 1 地形図「海津」

- (1) 集落の東側は低平で水も十分に確保でき、農地として使用した。
- (2) 集落のあるところは扇端であり、地盤もよく、豊富で良質な飲料水が得られる。
- (3) 集落の西側は、扇央で水の便が悪く、坂が多く、往来が困難で宅地として適さない。
- (4) 集落は、近年のほ場整備事業によって移転してできたものである。

問 5. 問 4 の図の左中央から東北東に流れる百瀬川の右岸側に、道路（盛土部）記号がある。盛土構造物が建設された理由として、**最も適切なもの**を選び、記号 (1)～(4) で示せ。

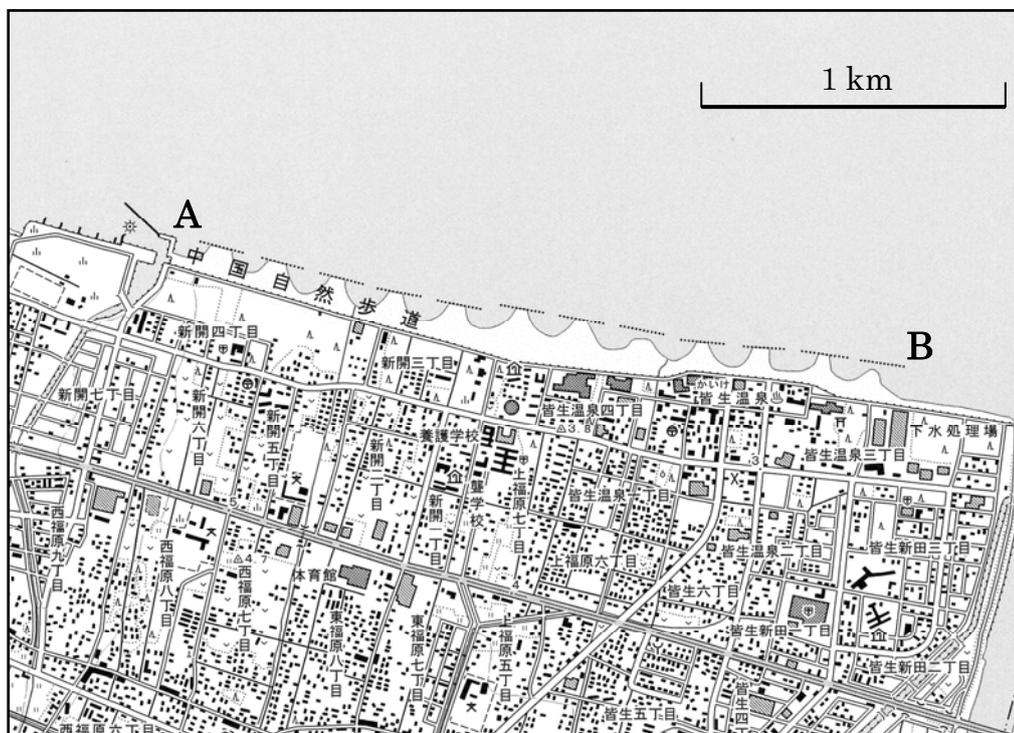
- (1) 集落から川の上流へ行くのに最短である。
- (2) 高速道路のための工事用道路である。
- (3) 古い集落を河川災害や土石流災害から守るためである。
- (4) 新しい宅地を造成するための進入路である。

問 6. 次は、南西諸島にある島の空中写真である。沿岸部（A 地点周辺）に認められる白色の部分構成する物質として、最も適切なものを選び、記号（(1)～(4)）で示せ。



- (1) 砂
- (2) れき
- (3) 礁石灰岩
- (4) 粘土およびシルト

問 7. 下図の海岸線に沿って描かれている A-B の直線的構造物の建設目的として、最も適切なもの一つを選び、記号 (1)~(4) で示せ。



国土地理院発行 25,000 分の 1 地形図「米子」

- (1) 津波対策
- (2) 高潮対策
- (3) 海岸侵食防止
- (4) 波力発電

問 8. 下図に示す A～D 地点のうち、大きな地震動を受けた時に液状化現象が起きる可能性の最も低い地点を選び、記号 (1)～(4) で示せ。



国土地理院発行 25,000 分の 1 地形図「角田山」

- (1) A
- (2) B
- (3) C
- (4) D